



校長室だより

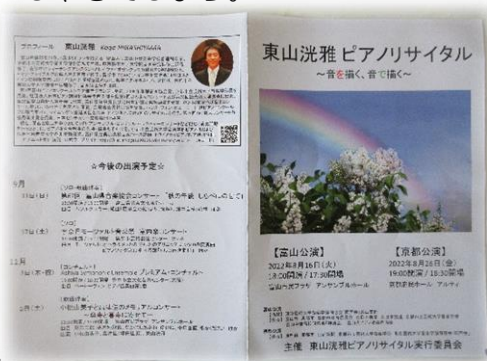
黒部市立荻生小学校
文責：校長 寺島紀子
令和4年8月19日
第20号

お盆の間の個人的出来事ですが・・・ 東山君のことをお話します

11日（木・山の日）から16日（火）まで、学校は閉庁日とさせていただきました。ご理解・ご協力のほどありがとうございました。皆様、お盆の期間中はいかがお過ごしだったでしょうか。

私は特に旅行等もなく、その日暮らしてのんびりまったりと過ごしていたのですが、そのような中で唯一、黒部市（三日市）出身のピアニスト東山洗雅君のリサイタルを聴いてきたのがなかなか楽しいイベントでした。新聞記事にも取り上げられていましたのでご存じの方もいらっしゃるでしょう。

実は東山君は、かつて桜井中学校に勤めていたときの最後の卒業担任学年で、学級担任ではありませんが授業では教えていた生徒です。これまでカラーやセシネで彼の演奏を聴いたことはありましたが、今回は招待券をいただき富山市民プラザまで行ってきました。中学を卒業してからもう20年以上たちますが、昔のままのシュツとした雰囲気、語りもクールかつウィットに富んだ彼らしいものでした。中学生の頃の話も少しありビックリしました。そういえば中学生の時、ピアノの周りに集まった友達と普通に話をしながら複雑な曲を楽々と演奏していた彼の姿を思い出します（「天才か!？」と目を丸くしたものでした）。その後、県下随一の進学校に進み、卒業後は大学から大学院、海外留学、そしてプロとしての演奏活動に加え後進の指導と、音楽の道を一心に進んでいます。とはいえ、コロナ禍の影響で久々のリサイタルだったとか。



この日のプログラムはラフマニノフとムソルグスキーの曲が中心でした。もちろん演奏は言うことなしで一つ一つの曲の情景が浮かんでくるような本当に素晴らしいものでした。聴きにいてよかったです。

研究集会に向けての準備を少しずつ進めています

11月の研究集会に向けての研修を10日（水）と17日（水）も行いました。今回は他校の先生方数名にも参加をお願いしました。



音楽科として子供に身に付けたい力がある一方で、それぞれの学級の実態もあります。できるだけ本校の子供たちの興味・関心に合ったアプローチで授業を進め、子供たちには自分の思いを大切にしながら楽しく集中して学習してほしいと思っています。

今回、音楽科の授業に長けた他校の先生方に率直なご意見をいただき、大変助かりました。ありがとうございました。今後はさらに県教委の指導主事の先生にも助言をいただき、計画を練り上げていきます。

★職員室のチーム力を強みに

さて、こうして校長室のPCに向かっておたよりを作成している間も、職員室内の楽しそうな会話や、時には真剣に相談したりアドバイスをしたりしている声がよく聞こえてきます。



本校の職員室には日頃から小さなことでも相談し合える雰囲気があります。それが本当に素晴らしいところだなあと、私は感じています。互いの主体性を尊重しながらもゆるやかにつながり合い、時にはグッと強く協力し合って難局を乗り越えられる、素敵な教職員チームです。

「研究集会」ともなると、授業を公開する2人の先生の負担がどうしても大きくなりやすい（きっとこの先もご苦労をおかけすると思います…）のですが、できるだけ無理のないよう周りから支えたい、そして、この機会を前向きに生かし、皆がそれぞれの立場から研修に参加し、それぞれの授業力向上につなげて荻生小全体がパワーアップしていけたら最高だなあとと思います。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

教材備品の点検を行いました

10日(水)には、校内にある教材・教員等の備品点検を集中的に行いました。台帳の記載内容と一致するか、数や状態を確認します。教職員で担当教科を決め、それぞれ分かれて作業しました。

黒板用の定規等の定番品には何と昭和の時代から使い続けている物もありました。一方、たとえば黒板上で操作して割合やグラフの描き方等を示すための教具等、こうしたものは購入当時は画期的な道具としてかなり重宝したことでしょう。また黒板に張り付けて(あるいは吊り下げて)使う大きな絵図も昔から定番の教材備品です。しかし考えてみると、プロジェクターやデジタル教科書、一人一台端末(タブレット)が当たり前の令和の世では、こういったものはもうほとんど使われることが少なくなりました。時代の流れを感じます。

こうした点検を行い、備品を整理整頓し、必要に応じて廃棄処分の手続きを取ります。また、新たに必要と思われるものについては予算の範囲内で購入していきます。令和の教育現場の中でいったいどのような教材・教具が子供たちの学習効果を高めていけるのか、見極める力が求められています。

夏休み特集「保護者アンケート」へのご協力、ありがとうございました

<その4 その他 学校と家庭、地域の連携等>

- ・何事にも前向きな心で取り組んでいる子供の姿を嬉しく思っています。先生方にいろいろな面でサポートしていただいていると感じます。(4年)
- ・先生方のいつも素早いレスポンス、誠実な対応に心から感謝しています。今後も情報提供をより積極的にしていただけると、保護者としても学校に協力できるが増えると思います。(5年)
- ・リサイクル活動に取り組むことで、ゴミの分別等、意識できるようになりました。(4年)
- ・通学の様子を見ているとまだまだ安全確認が不十分に感じる時があり、心配です。(1年)
- ・低学年と思われる子がヘルメットなしで自転車に乗っているのを数人見かけた。すごい速さで走っている子も見るので、改めて自転車の注意点などを子供たちに伝えてほしい。(4年)
- ・熊やサル、変質者など、学校でも注意していただけると助かります。(2年)
- ・コロナが落ち着いたら、地域の方々やほかの学校、保育所と取り組む行事などをたくさん開いていただき、いろいろな方と活動できればと思います。(1年)
- ・何年もマスクを着けたまま学校生活を送ることに不安と寂しさを感じます。できるだけ早くマスクなしで友達と過ごせる日が来てほしいです。(1年)
- ・欠席の時に明日の持ち物だけでよいので確実に教えていただけたら助かります。(2年)
- ・学校からのおたよりを親子で楽しく読んでいます。学校での出来事を子供と共有することができて嬉しいです。
- ・校長室だよりで日頃の子供たちの様子を詳しく知ることができます。子供たちを思う気持ちが伝わります。お忙しいのにありがとうございます。(2年)
- ・シリーズ「教室におじゃまします」で他の学年のことも知れ、先生や子供たちの素敵どころが書かれていて学校の様子が伝わります。(3年)
- ・「校長室だより」をいつも楽しみにしています。子供たちにとって今まで以上に風通しのよい学校になってきていると感じています。(5年)
- ・学校の様子がざっくりと知れてよいと思います。毎週大変だとは思いますが、ぜひ続けてほしいです。もっと深くて濃い内容も期待しています。(6年)
- ・ここ数年コロナでいろいろな活動がなかったこともあり、学校・地域との連携の仕方がよく分かりません。もう少し決め事があってもよいのかなと思います。(6年)
- ・スキー練習会など、先生方や保護者の負担軽減のために実施の有無や内容を検討するとよいと思います。(6年)

お子さんの様子をよく捉えての貴重なご意見には参考になるものが多くありました。また、この「校長室だより」への感想や温かいお言葉もありがとうございました。大変励みになります。もっと深くて濃い内容を目指します。

このほか今回のアンケートに関する考察につきましては、後日発行の学校だよりで改めてお知らせいたします。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。